

あなたの知らない(?)「日岡山公園」



本校の北に位置する日岡山・日岡山公園。

部活動等での施設利用やお花見、子どもたちの遊具利用等でお馴染みですが、ちょっと歩みを進めると、あなたの知らない(?)風景が存在します。

【「OAA播磨ハイツ」展望台】

ここには、かつて多木化学創業者が建てた展望台：
「^{しょうとくかく}聖徳閣」がありました(S.11~)。1950(昭和25)年に加古川市に寄贈され、1966(昭和41)年に社団法人が設置されて「播磨ハイツ」が建設されました。



現在の展望台は加古川市が管理し、平日昼間の展望(平日開放は9:00~16:00)や花火大会・初日の出観覧のスポットとなっています。



【日岡御陵(景行天皇皇后(稲日大郎姫)日岡陵)】

展望台に(が?)隣接して、宮内庁が指定・管理する大きな前方後円墳があります。日岡山には多くの古墳が存在しますが、これは『播磨国風土記』に記された^{いなみのわきいらつめ}印南別嬢 = 『日本書紀』に第12代景行天皇の后：^{いなびのおおいらつめ}稲日大郎姫の墓とされています。後の遺体を乗せた船が転覆、見つかった^{ひれ}褶(薄い肩掛け)と^{ひれ}櫛箱を葬ったので「^{ひれ}褶墓」とも呼ばれています。



【展望「所」など】

日岡御陵から北西(加古川方向)へ進んでいくと、展望「所」(上記「展望台」とは別)に行き着きます。1957(昭和32年)に、市の水道局が加古川町方面への配水池(有効容量1,800㎡)を設置、のち公園として整地し、「展望所」としました。



展望台と比べると「展望」はお粗末ですが、雨をしのげる休憩所やベンチがあり、ランニングやウォーキングでのひと休みに役立ちそうです。



また、公園内の通路脇には瓦のアート等があり、散策者等の目を楽しませてくれます。

